



食品加工工場

株式会社オーバーシーズ 横浜工場 様

納入機器

クールマルチ・産業用除湿機・AE-200J・ファシレアDD

ECO V DUAL

カルディコーヒーファーム向け国内初の製造
工場で選ばれたR463A-J 冷媒と AE-200J

▲肉を燻して生ハムに加工するための下準備。冷却機能付きの産業用除湿機が稼働中

▲コンデンシングユニットは、
熟成庫用などセット品を除
き、冷媒R463A-Jを封入▲除湿機は他社機を含めて25
系統あり、他に天井裏に13台
(R-407C)設置▲塩漬庫のクールマルチ(R463A-J)。基本的
に生産エリアの機器はカチオン防触仕様▲オリーブの小分け工程。クリーンルームの空調は設備用パッケージエア
コン(吹出ダクト接続)

▲設備用パッケージエアコンは壁面に収納

株式会社オーバーシーズ様は、「カルディコーヒーファーム」を運営する株式会社キャメル珈琲のグループ会社です。世界各地から多彩な食品を輸入する商社として1996年に設立されました。

2022年2月には、同社初の食品工場として、生ハムやチーズ、オリーブを加工する横浜工場が稼働を開始。2階建ての工場内は原料入庫から商品出荷まで、衛生と効率に配慮した動線設計がなされ、工場の外周には設備機器の熱源ユニットが整然と配置されています。

横浜工場の設備機器には、次世代冷媒R463A-J封入のインバータコンデンシングユニットECO V DUALシリーズや、除湿機、設備用パッケージエアコン ファシレアDDなど、三菱電機製の機器システムを多数で採用いただきました。その数は全部で142台(低温機器・除湿機41台、空調機88台、天井裏の除湿機13台)に上ります。これらの機器の一括監視・連動制御を担うのは、「空調冷熱総合管理システム」AE-200J(2基)。FSSC22000認証取得も視野に入れた、横浜工場の「製造管理の徹底」に寄与しています。



▲事務所にあるAE-200Jのコントローラ。天井裏除湿機用に、制御盤内にも1基設置されている



▲横浜工場の主な生産品目



DATA

- 施設所在地：神奈川県横浜市栄区飯島町 37-1
- 納入機種：【クールマルチ及びコンデンシングユニット】
AFLV-D3VHQS1×8、AFRV-D4VHQS1×6ほか、全25系統
【除湿機】KEH-P08A1-SUSなど16系統+天井裏用13台
【空調冷熱総合管理システム】AE-200J×2
その他 設備用パッケージエアコン ファシレアDD
中温用パッケージエアコン、スリムエアコン、エアー搬送ファン
など多数
- 設備用途：生ハムの製造、ナチュラルチーズのカット・小分け、オリーブの小分け
- 竣工：2022年2月

お客様の評価

株式会社オーバーシーズ 横浜工場

工場長

藤田 靖彦 様



細やかな温湿度環境を維持できています。

横浜工場では、チーズ加工、生ハム製造、オリーブ小分けの3ラインがあります。チーズと生ハムはラインをしっかりと分けて菌の混入を防いでいます。クリーンルームの清浄度は賞味期限に直結するので、現実的な清浄度クラスで最高レベルの実現をめざしました。工場内では商品だけでなく作業者への配慮も必要なため、低温域・中温域ともに細やかな温湿度環境を維持できる三菱電機の機器類は頼もしいと思います。また、「地球にいいことしてる？」を企業指針とするキャメル珈琲グループにとって、次世代冷媒R463A-Jの「環境性」も大きな選定ポイントでした。

設計工事店の声

菱熱工業株式会社

食品飲料工場MD 産業設備ドメイン

金井 大 様



菌の抑制には除湿機の役割も重要です。

コンデンシングユニットの冷媒にR463A-Jを採用した第一の理由は、GWP(地球温暖化係数)が低いという点です。一方、2階の生産ラインの空調機は、チーズの白カビなどでコンタミを起こさないよう、メンテナンスが容易かつ静圧の変動に合わせやすいファシレアDDをお勧めしました。食品工場は洗浄や調理で高温環境となりやすく、湿度を抑えるためには除湿機も重要です。菌を抑制するため湿度を40%以下に抑え、夜間も除湿機を運転させておくことで、日中水濡れした床も翌朝には乾きます。機器も冷媒も最新かつ最良のものをご提案し、結果的に省エネ性の面でも優れた設備になったと思います。

提案者の声

三菱電機冷熱機器販売株式会社

首都圏支社

営業第一部 第一課

主幹

星野 祐輔 様



製造室以外でも温湿度管理を徹底されています。

横浜工場様では三菱電機グループがお薦めする最新の機器・冷媒をご採用いただきました。また、「製造加工室以外も10℃以下を維持、かつ結露対策も徹底したい」というご要望に応えるため、多数の機器を配置しています。これらを一括管理するAE-200Jに関しては、今後さらなる省エネに寄与できるよう、引き続き様々な運用方法をご提案できればと考えております。

横浜工場 見取図

- ユニットクーラ
- コンデンシングユニット
- 除湿機
- 空調機

